



ながさきしんぶんジュニア版

# メクル

## meQru



第524号

2021年2月14日(日)

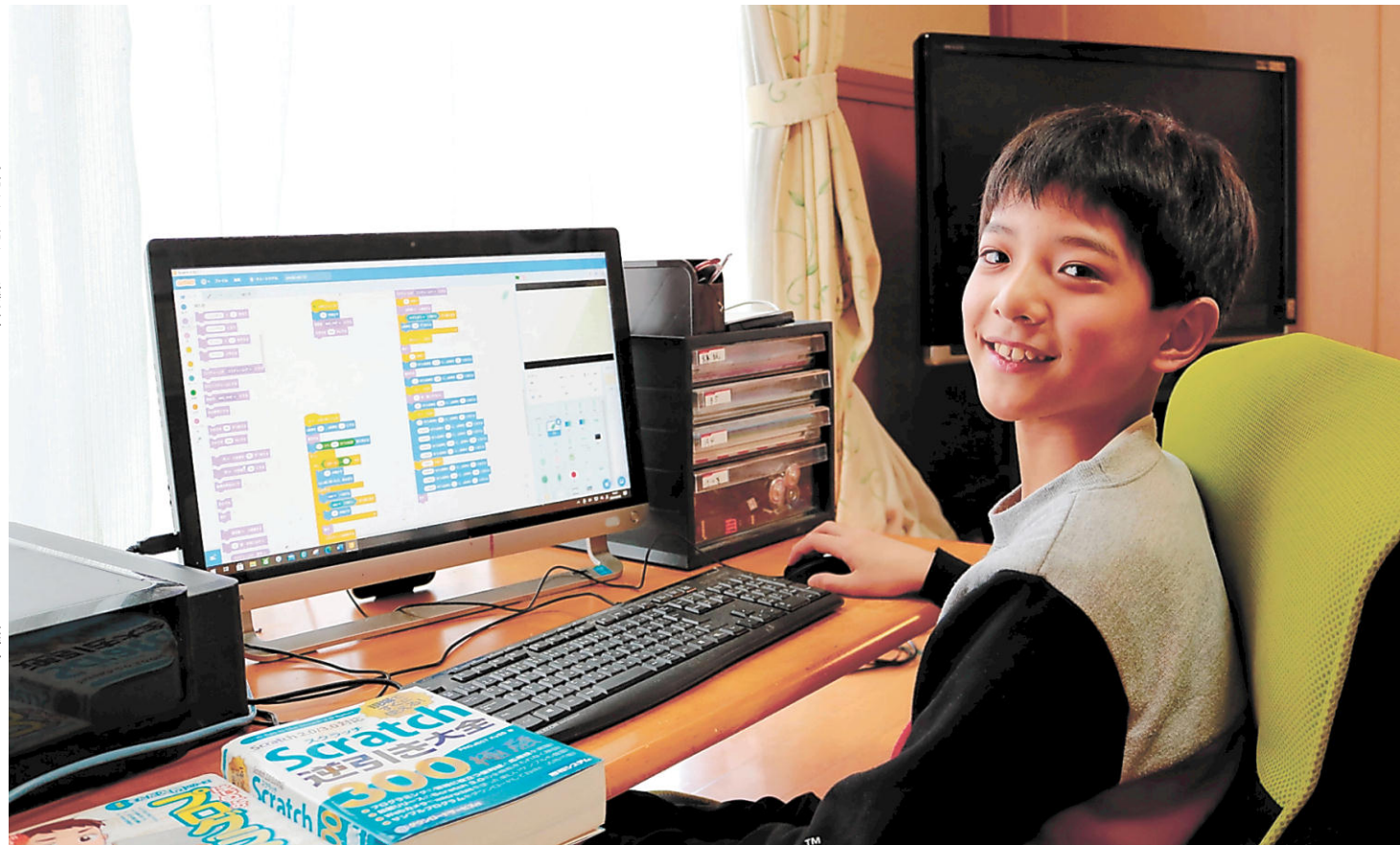
毎週土日に  
のるよ

852-8601  
 長崎市茂里町3の1  
 長崎新聞社  
 メクル編集室  
 meqru@nagasaki-np.co.jp  
 TEL 095・846・9240  
 FAX 095・844・2106



チョコレートな  
食べたいよ

メクルん



大賞を受賞した藤本君

長崎市

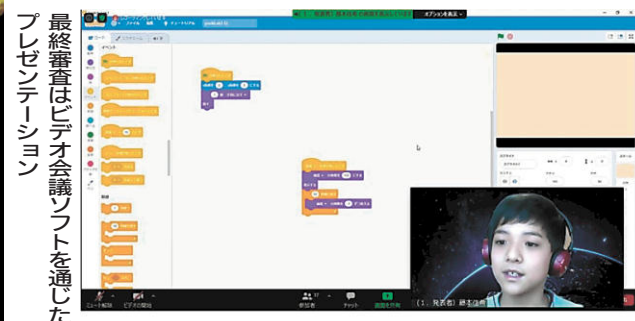
コンピュータープログラミングで表現した作品を発表する「ながさきプログラミングアワード」の最終審査が1月31日にオンラインで開かれ、大賞には長崎・精道三川台小6年の藤本佳希君(12)が選ばれました。

大会のテーマは「もっと好きになるわたしたちのまち」。藤本君がつくったのは「Nagasaki & rain~My City~」という映像作品。制作の背景や工夫した点などを教えてもらいました。優秀賞の4作品と合わせて紹介します。(松岡佑佳)

# 藤本君(精道三川台小6年)大賞

ながさきプログラミングアワード

## 長崎の風景映像に



最終審査は天才会議ソフトを使用したプレゼンテーション

初めての挑戦で大賞に輝いた藤本君。印象的なピアノ曲にのせて、幼い頃にたくさん遊んだ公園や自然、長崎の風景の写真と、アニメーションを組み合わせた映像で表現しました。

藤本君がプログラミングを始めたのは、小学2年生のとき。マンガで書かれた入門書などを見てまねをしたり、簡単なゲームをつくりたりして一人で勉強を続けてきました。「自分の作品を誰かに見てもらいたい」。お母さんの勧めもあり、プログラミングの大会に初めて応募したそうです。

作品に使用した曲は、ピアノ教室の先生が作ったオリジナル。曲を聴くと、頭の中に「色」が浮かんでくるといいます。それから「雨が合



上から見た雨降りの様子は、傘の動きや雨粒が波紋になるアニメーションが印象的

うなと感じ取り、「傘、しずく、波紋」と雨に合う物を連想していき、イメージを組み立てます。

雨が水たまりに落ちて広がる波紋や、傘を回している様子など、雨降りのシーンを上から見たアニメーションをつくり、「雨」「街」「人」を再現。写真を使って現実の世界を、アニメーションで表現しました。

ながさきプログラミングアワードは県内に住む小学3~6年生を対象とした大会です。本年度から小学校で必修化したプログラミング教育について理解を深めようと、全国の地方新聞社が連携して各地で同様の大会を開催しています。

応募があった15作品のうち、最終審査に進んだのは5作品。参加者はプレゼンテーションで作品をつくらうと思ったきっかけや工夫したところなどを発表し、審査員からの質問に答えました。

### どんな大会?

評価のポイントには、プログラミングの技術だけでなく、アイデアの独創性やそれを表現する力、プレゼンテーションの態度などが総合的に審査されました。

大賞を受賞した藤本君は、3月にオンラインで開かれる「全国選抜小学生プログラミング大会」に出場します。

主催 アドミン共催 長崎新聞社  
 協賛 NDKCOM、オフィスメーション、福祉ソフト

## 来月全国へ「入賞目指す」



プログラミングは解説書を読みながら独学で勉強

て動画のように見せる工夫をしました。こだわったのは写真や動画を切り替えて映し出すタイミングを調整して、自然な動きに近づけようとしたこと。細かい調整を繰り返して、ようやく完成しました。

「何度もデータが消えてしまった」と苦悶も教えてくれました。

プログラミングの楽しさは「自分がつくるプログラムでいろいろな世界が広がること」。とても難しく、壁にぶつかるともありますが、そんなときは「考えられるいろんな方法を試してみる。自分で分かった方が自分の力になるから」と藤本君。後悔したくないから、途中で投げ出すことはしません。

早くも、次に手掛ける映像作品を構想中とのこと。3月にオンラインで開かれる全国大会に向けて、「どんな大会か、どんなのかわかるかな」と目を輝かせていました。

### 優秀賞の4組



★チーム「K-3」  
 (写真左から) 下山孝介君、木谷海仁君、川口空良君  
 =長崎大付属小6年=

原城攻略〜時はきた〜  
 世界文化遺産「原城」で起こった島原・天草一揆を鎮める攻略ゲーム。キャラクターやアイテムなどはドット絵で一から作ったオリジナル。

★菅真白さん=長崎市立伊良林小4年=



真白が伝える伊良林の魅力  
 自作のキャラクターが、住んでいる町の身近な魅力を案内するアニメーション。聞き取りやすいスピードに編集した音声は、発言のタイミングも工夫。

★由上博一君=長崎南山小4年=



ドキドキ! 数字合わせ  
 プログラミングスクールでまだ習っていないブロックを使って挑戦。誰でも楽しめるシンプルな操作の数合わせゲーム。

★東依美帆さん=諫早市立長田小3年=



私の好きなまち  
 自分の小学校のほか「めがね橋」「のんのこまつり」を紹介。ミニゲームを組み込んだ部分と、自作の打ち上げ花火の絵がお気に入り。

## 私たちはプログラミング学習にひたむきな子どもたちを応援しています。

長崎のどうにかしたいを解決するカンパニー



代表取締役社長 中野 一英

〒850-0875 長崎市栄町5番11号

TEL 095-824-3511(代表)



代表取締役 石橋 圭介

〒850-0037 長崎市金屋町2番6号 電腦BLD.

TEL 095-822-7201

わかりやすさには、きっとところがある。



福祉ソフト株式会社 TEL:0956-56-7299  
 〒857-0034 長崎県佐世保市万徳町1-20 ダイセイ万徳ビル2F  
 E-mail / info@fukushisoft.co.jp

